

# ひやくていひやくえ 茶湯百亭百会

## 顯岑院本（三）

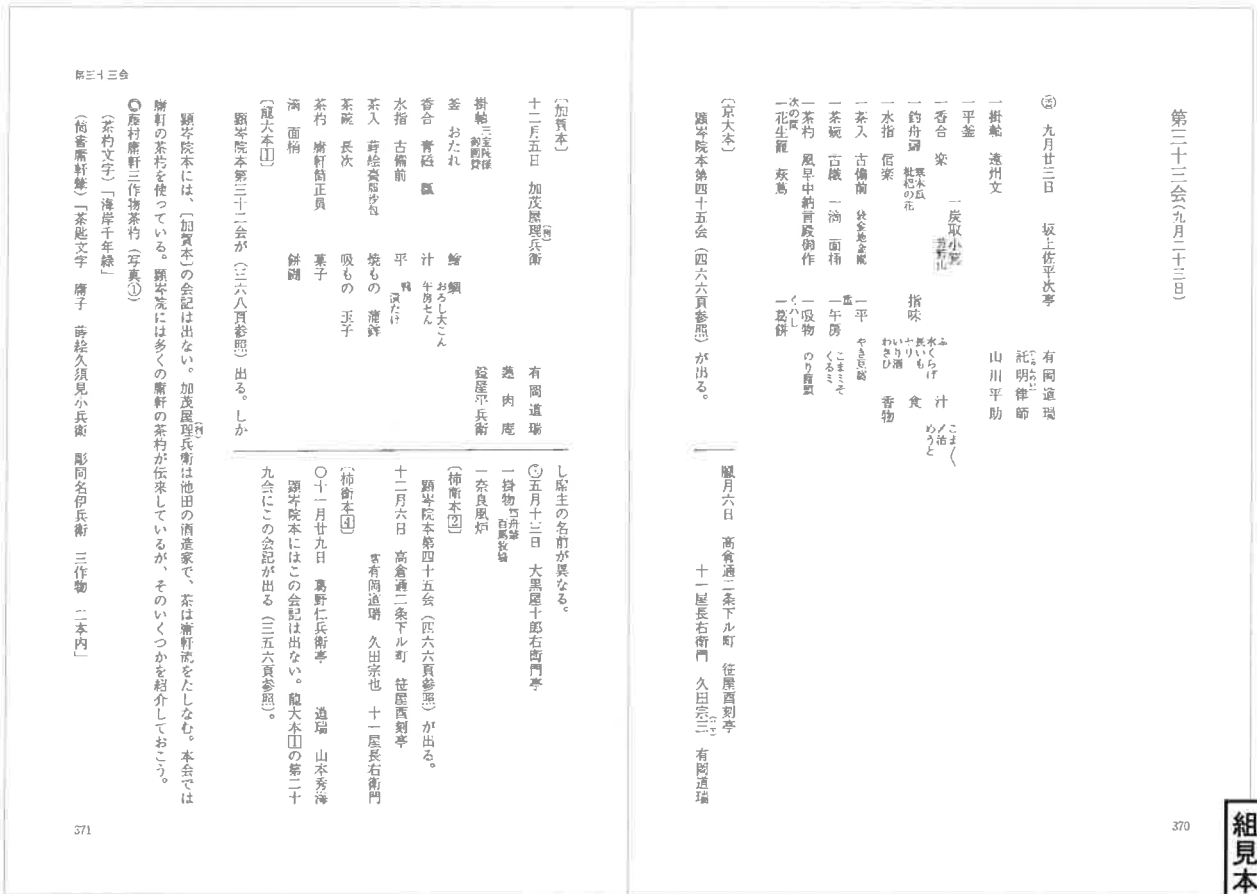
白寄 顯成 著

2015年4月刊行

▶ A5判・950頁／定価：本体20,000円（税別） ISBN978-4-7842-1793-9

京都の紫雲山くろ谷金戒光明寺の塔頭顯岑院に、数多く伝えられている庸軒流茶書。それらを翻刻するシリーズの第3弾。

本書は、久田宗全の門弟とされる伊丹の町人、有岡道瑞がみずから参席した茶会から百会をまとめた茶会記。顯岑院本を一会ごと掲げ、各種写本との異同を示し、さらに同時代の茶会記との関係もさぐり、茶会記をひもときながら、人物・道具・飾り・料理などの多彩な世界を明かす。



組見本

（しらすき けんじょう）  
1941年京都・顯岑院に生。京都大学大学院文学研究科修士課程（宗教学仏教学専攻）修了。密教图像学会常任委員。京都花蓮研究会会長。神戸女子大学名誉教授。『蘭室藤村正員年譜考』（思文閣出版、2003年）。『藤村庸軒年譜考』（思文閣出版、2009年）。『藤村庸軒をめぐる人々』（思文閣出版、2011年）。『藤村庸軒流茶書』（思文閣出版、2012年）。『茶道望月集』（思文閣出版、2013年）

思文閣出版 〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		（京都 取引コード 3402）	
冊数	冊	茶湯百亭百会		本体20,000円（税別）	ISBN978-4-7842-1793-9
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				
				本書HPのQRコード	
				書店番線印	

## 藤村庸軒流茶書 顕岑院本(一)

白奇顕成著

京都の紫雲山くろ谷金戒光明寺の塔頭である顕岑院には多くの庸軒流茶書が伝えられている。本書には、その中から息子の正員が庸軒の茶話を筆記したと思われる『藤村庸軒茶談』のほか、観山によって定められた庸軒流茶道の基本となる稽古次第を中心に収める。



▶A5判・528頁／本体 10,500円(税別)  
ISBN978-4-7842-1624-6

## 茶道望月集 顕岑院本(二)

白奇顕成編

顕岑院に伝えられている庸軒流茶書を翻刻するシリーズの第2弾。

本書は、藤村庸軒(1613~99)の孫弟子、風後庵又夢久保可季による享保8年(1723)成立の茶書。風後庵又夢の師、鳩庵横井等甫から伝授された「庸軒流茶法」40巻、「七ヶ条極秘切紙」3巻の内容を盛り込み、庸軒流茶法を詳述したものである。



▶A5判・852頁／本体 16,000円(税別)  
ISBN978-4-7842-1667-3

## 蘭室藤村正員年譜考

白奇顕成著

庸軒流茶道の祖、藤村庸軒の三男藤村正員(1650~1733)の事跡について、自著『蘭室草』の収録作品(漢詩・和歌など)にそいながら、生涯の動向を歳ごとに明かした異色の年譜考。広汎な諸資料にもとづいた京坂の茶人・文人たちとの交わりは、茶道を軸とした近世文化史の一側面を伝える趣きを備えた一書。

▶A5判・480頁／本体 5,800円(税別) ISBN4-7842-1173-X

## 藤村庸軒年譜考 [全2巻]

白奇顕成著

藤村庸軒(1613-1699)は、儒者・儒学者であり、漢学・和学にわたる広い教養と、卓越した美的センスにより、漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮した。本書は、庸軒の生涯の動向を、文献学的方法にもとづき歳ごとに明かした異色の年譜考。茶道を軸とした近世文化史の魅力余すところなく伝える一書。

▶A5判・総1848頁／本体 35,000円(税別) ISBN978-4-7842-1456-3

## 藤村庸軒をめぐる人々

白奇顕成著

一族の人々・門弟達・儒教の師・茶道の師・友人の儒者・医師達の事蹟をたどることで、現在も続いている庸軒流の開祖、藤村庸軒の実態について新たな角度からのアプローチを試みる。巻末には「藤村庸軒流系譜」を収録。

▶A5判・790頁／本体 16,500円(税別) ISBN978-4-7842-1554-6

## 公家茶道の研究

谷端昭夫著

近世における「公家茶道」を取り上げ、その独自の形態、実態と特徴、茶道史における位置づけを考察し、茶が持つ文化の内実を深める。

【内容】禅僧と茶／『兼見卿記』にみる公家と武家の茶／公家たちの茶／松花堂昭乗／後水尾院の茶会／公家茶道の模索／公家・武家と茶匠たち／公家茶道の形成／公家茶道の深化／常修院の茶系 ほか

▶A5判・394頁／本体 6,500円(税別) ISBN4-7842-1265-5

## 片桐石州茶書

谷兎・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書7

流布本を整理し、その基本に位置すると考えられる「怡溪系」、多くの系統の中で比較的内容が豊富な「醉翁系」、そして千家の立場から『石州三百箇条』の内容について述べた異色の「不自系」の三系統からそれぞれ底本と校合本を選び翻刻・校合。茶室の歴史を明かすうえで重要な記述がふくまれている『大工之書』の翻刻も収録する。

▶A5判・658頁／本体 15,500円(税別) ISBN978-4-7842-1758-8

## 御茶湯之記 予楽院近衛家熙の茶会記

名和修・筒井紘一・熊倉功夫監修／川崎佐知子校訂 茶湯古典叢書6

近衛家熙が自家に客を招いて催した茶会の晩年24年間(正徳3年[1713]~享保21年[1736])の記録で、家熙側近の者がそのつど記し遺したものと思われる。茶会の日付と場、客人、道具、献立が漏らさず書き控えられ、308会にも及ぶ茶会が記録されている。脚注・補注・年譜のほか解説3篇、茶人・道具・献立篇の索引も併載。

▶A5判・610頁／本体 15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1756-4

## 茶譜 [全2冊]

谷兎・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書5

近世茶書としては最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は、利休・織部・遠州・宗和・宗旦のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし、現存する諸本と校合して全編活字化。挿図についても別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・総924頁／本体 20,000円(税別) ISBN978-4-7842-1528-7

## 金森宗和茶書

谷兎校訂

茶湯古典叢書4

底本には金沢市立図書館藤本文庫所蔵の『茶道の書ホ』を、校合には陽明文庫蔵の『金森茶道故実』を用い、陽明本と国会本(流布本)の追加分は別途収録した。流布本の一つ藤本文庫蔵『宗和流茶湯書』にみられる付箋と朱書書込・墨書書込も該当箇所に掲げ、茶会記は現在所在判明のものすべてを収録。

▶A5判・490頁／本体 12,500円(税別) ISBN4-7842-0944-1

## ※古田織部茶書 [全2巻]

市野千鶴子校訂

茶湯古典叢書2・3

利休の高弟・古田織部の茶道秘書を集成。一巻には、「宗甫公古職へ御尋書」及び「古田織部正殿問書」の2巻を収め、二巻には、「織部百ヶ条」「織部茶会記」「数寄道次第」「古織茶湯記」「古織伝」「茶之湯六宗伝記三」の6篇を収録。

(一)▶A5判・370頁／本体 6,200円(税別) ISBN4-7842-0203-X

(二)▶A5判・442頁／本体 8,200円(税別) ISBN4-7842-0204-8

## 武野紹鷗 わびの創造

戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編

武野紹鷗を基軸として、斯界の論者24人が原稿を持ち寄った論集。

【内容】武野紹鷗と千利休／室町末期の三条西家の三栖庄経営と武野紹鷗／武野紹鷗と本願寺／武野紹鷗の書状／珠光「心の一紙」再考／天正期・堺商人の剃髪／江戸時代前期の千家の茶の湯における武野紹鷗／齋田記念館所蔵武野紹鷗関係史料 ほか

▶A5判・614頁／本体 12,000円(税別) ISBN978-4-7842-1471-6

## 茶の湯と音楽

岡本文音著

室町時代後期の草創期から江戸時代初期の千利休による大成という、茶の湯が発展・拡大へと向かう時期の文献をひもときつつ、「音楽」の世界をおとしてみえる茶の湯の美意識を、大きく能楽、「峯すり」、茶の湯の釜の煮え音「五音ノ湯アヒ」、茶の湯空間における音という4つのトピックから明らかにする。

▶A5判・376頁／本体 7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1606-2

## 西鶴の文芸と茶の湯

石塚修著

浮世草子作家の嚆矢であり江戸時代前期を代表する作家の一人、井原西鶴(1642~1693)。その文芸作品に、いかに当時の茶の湯文化が反映されていたのか、西鶴が浮世草子作家になる以前の俳諧師時代、さらに『好色一代男』から遺稿集にいたるまでの浮世草子作品をとりあげ、その影響関係を検証する。

▶A5判・316頁／本体 6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1730-4

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。